



国際ロータリーおよびロータリー財団
2012-13年度年次報告

DE CÔTE D'IVOIRE



国際ロータリーおよびロータリー財団 2012-13年度年次報告



2011年以来、ポリオの発症が報告されていないコートジボワール。ポリオウィルスの再流入を防ぐため、ロータリアンが現在も活動を続けています。

会長と管理委員長からの メッセージ



成果と躍進の一年

日本に、「継続は力なり」という表現があります。これは「たゆまず努力すれば、いずれは大きなことが成し遂げられる」という意味です。2012-13年度に私たちが慎重な計画と先見性をもって粘り強く努力した結果を見れば、このことわざが的を射たものであることが分かります。

ロータリーは、ロータリアンがより高い目標を目指して奉仕活動が行えるよう、簡素化・効率化された補助金モデル、「未来の夢」の全面導入に向けて準備を整えました。「Every Rotarian, Every Year」においても、ロータリアン全員がロータリー財団に寄付をするという目標達成に、今までになく近づき、年次基金には過去最高である115,100,000米ドル以上の寄付が寄せられました。さらには、数十年間にわたる基金の投資が昨年度は大きな収益を上げ、また、ポリオ撲滅に向けて、歴史に残る進展がありました。

2012年、インドが野生ポリオウィルスの常在する国のリストから除外され、残る3つの「ポリオ常在国」でも、ポリオ発症数は223件に留まりました。ポリオのない世界の実現のために、長年、力強いご支援と、惜しみないご寄付を寄せてくださったロータリアンのお力なしに、この大きな成果を挙げることはできませんでした。

ポリオ撲滅活動におけるパートナー団体の数が増え、撲滅実現の可能性が以前にも増して高まっている一方、すべての子どもに予防接種をするには、現在も資金が不足しているのが実情です。この資金不足を和らげるため、ロータリーは今後5年間、毎年少なくとも3,500万米ドルを寄付することを目標とし、これに対してゲイツ財団が2倍の額を上乗せします。2018年までのポリオ撲滅認定に向けて順調な成果が上がっており、ポリオのない世界の実現は本当に「あと少し」に迫っています。

「奉仕を通じて平和を」目指す方法は、ロータリアンによってさまざまです。この年度、ベルリン、ホノルル、広島で開催されたロータリー世界平和フォーラムでは、ロータリアンであること自体が、いかに平和の推進力となるかが示されました。広島平和記念公園で献花が行われた際にも、ロータリアンは、平和の大切さだけでなく、すべてのロータリー活動の大切さに対する思いを新たにしました。

ロータリアンは皆、ロータリーにおける自分なりの道を見つけ、自分なりの方法で奉仕します。この年次報告書では、そのようなロータリアンの姿が紹介されています。力を合わせ、健康と幸せ、そして活気に満ちた地域社会を築くことで、より平和な世界を築いていきましょう。



2012-13年度
国際ロータリー会長
田中作次



2012-13年度
ロータリー財団管理委員長
ウィルフリッド J. ウィルキンソン

政府、企業、民間への働きかけ（アドボカシー活動）は、
ロータリーのポリオ撲滅活動において大切な取り組みの一つです。

アジズ・メモンさんは、このような働きかけを通じてこそ、パキスタンでポリオを根絶し、
そのほかの保健問題にも解決の糸口を提供できると話します。



残り **1%** のポリオ発症をなくす
のが**最も難しい**とされています。ウイルス
が今も根強く残るのは、さまざまな事情で
予防接種の行き届かない地域です。

ポリオを撲滅する

パキスタンでのポリオ撲滅活動は、ポリオにとどまらない人道的恩恵をもたらすと、アジズ・メモンさんは考えています。メモンさんはパキスタンのポリオプラス委員会の委員長として、これまで多くのロータリアンとともに活動し、7つのポリオ・リソースセンターと13の常設予防接種所を設置したほか、特に感染リスクの高い地域でも7つの予防接種所を設けました。こうした施設のおかげで、機会を逃しがちな子どもたちが確実に予防接種を受けられ、また予防接種に反対する親に十分な情報を提供して理解を促すことができます。

一部の施設や保健キャンプでは、はしか（麻疹）の予防接種、肝炎、結核、糖尿病の検査、医薬品や眼鏡の提供など、ポリオ以外の保健サービスを無料で行っています。

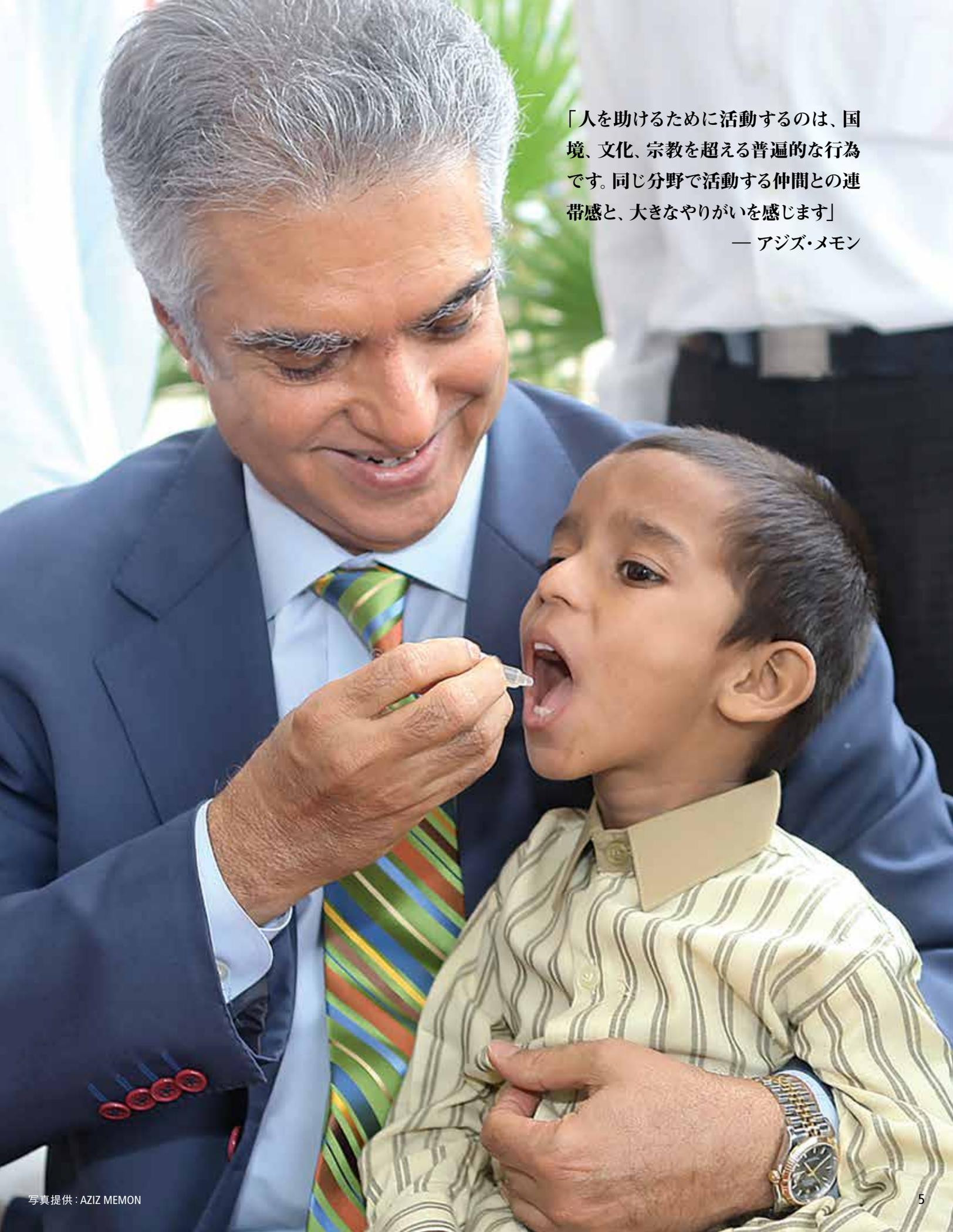
2012年、メモンさん率いるロータリアンのグループは、ポリオ撲滅を支援するパキスタン国会議員150名から署名を集めることに成功しました。また、メモンさんとロータリー国際ポリオプラス委員会のロバート S. スコット委員長が、パキスタンのザルダリ大統領と会談し、国内でのポリオ緊急行動計画とロータリーからの支援について話し合いました。

メモンさんは、宗教指導者との協力にも力を尽くしており、パキスタンでポリオ撲滅活動を支持しているウラマー（イスラム教法学者）の委員会と協力しています。

メモンさんとポリオプラス委員会の努力により、パキスタンのコココーラ社はビルボード（屋外看板）を使って全国予防接種日の告知を行ったほか、7,000万本以上のボトルにポリオ撲滅のメッセージを掲載し、カスタマーセンターでも「End Polio Now」の着信音を採用する予定です。この協力を通じて、1つの予防接種所に浄水施設を設置できました。

クリケットの人気選手、シャヒード・アフリディさんがロータリーのポリオ撲滅大使となったのも、メモンさんの働きかけがありました。

「幅広く支援を集めれば、パキスタン、そして世界から、ポリオを撲滅できる」とメモンさんは語ります。



「人を助けるために活動するのは、国境、文化、宗教を超える普遍的な行為です。同じ分野で活動する仲間との連帯感と、大きなやりがいを感じます」

— アジズ・メモン



アドボカシーの現場から

(写真上) 4月、アラブ首長国連邦のアブダビで開催された世界ワクチンサミットには、インド・ポリオプラス委員会のディーパク・カプール委員長(左から2番目)をはじめとするロータリーの代表者、各国政府、非政府組織(NGO)、その他の支援者が出席しました。このサミットでは、ポリオ撲滅・エンドゲーム戦略計画のために40億米ドルを確保することに成功。こうした支援を集めるためのアドボカシー活動では、ロータリーが重要な役割を果たしています。

ロータリーは、1988年にポリオ撲滅活動を始めて以来、世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)に12億ドル以上を投入し、さらにドナー国から90億ドル以上の資金援助を確保する上で大きく貢献しました。昨年度の主なアドボカシー活動を以下にご紹介します。

2013年6月 ロータリーとビル&メリンダ・ゲイツ財団がポリオ撲滅のためのパートナーシップを拡大(次ページを参照)。

5月 2011~2014年に5,000万豪ドルを提供したオーストラリア政府は、2015年~2018年までポリオ撲滅・エンドゲーム戦略計画のために8,000万豪ドルを提供することを約束。同国政府の高官は、ロータリーをはじめとするGPEIパートナー組織の率先力を高く評価。

3月 米国の首都ワシントンD.C.にある国会議事堂前にて、ロータリアンとビル・ゲイツ氏がポリオ撲滅への支援を呼びかけ。続いて、米国政府によるポリオ撲滅への協力の重要性を議会職員に説明。

2012年9月 国連総会中、ポリオ撲滅に関するハイレベル会議が開催され、ロータリーが今後3年間、GPEIに対して新たに7,500万ドルの資金を投入することを発表。

8月 ロータリー財団のウィルフリッド J. ウィルキンソン管理委員長と国際ポリオプラス委員会のロバート S. スコット委員長が中心となり、カナダで国会議員にポリオ撲滅活動への支援を求める書簡送付キャンペーンを実施。

“闘い”に必要な資金を集める

ハイライトの一部をご紹介します。

カナダのロータリアン、カナダ国際開発局(CIDA)、ゲイツ財団が「Pennies and More for Polio」キャンペーンを通じて、680万加ドル以上を集めました。そのうちロータリアンが集めた資金は220万ドル。これに対してCIDAとゲイツ財団が同額を上乗せしました。

エメカ・オフォール氏(オウカG.R.A.ロータリークラブ、ナイジェリア)は、2013年ロータリー国際大会にて、ポリオプラスへ100万米ドルを寄付することを発表しました。石油・天然ガスを扱うクローム・グループの常任副会長であるオフォール氏は、2012年10月にも、ポリオプラスへ25万ドルの寄付を行っています。

ロータリアンと支援者は11月、米国アリゾナ州で開催された自転車レース「El Tour de Tucson」で42万ドル近くの募金を集めました。このレースには、ジョン・ヒューコ事務総長とマルガ夫人を含め、90名のロータリー関係者が参加しました。

紫色のクロッカス(造花)を英国、米国、カナダ、ナイジェリア、オーストラリアで販売し、収益25万ドルを寄付しました。

誕生日を機会に、ロータリーの国際ポリオプラス委員会委員長、ロバート S. スコット氏は、カナダの地元オンタリオ州で20万ドル以上を集め、ポリオ撲滅活動に寄付しました。

第7680地区のロータリアン30名(米国ノースカロライナ州)が、標高約5,900mのキリマンジャロ山(タンザニア)に上り、10万ドルを集めました。

2013年ロータリー世界水泳マラソンに、36カ国から186のロータリークラブ、6,100人以上が参加。英国のグランサム・ロータリークラブが企画したこのキャンペーンでは、95,000ドルを超える資金が集まりました。

目標を遂げるために

6月、国際ロータリーとビル&メリンダ・ゲイツ財団は、ポリオ撲滅をめざすパートナーシップを新たな段階へと発展させました。

ロータリーはこれまで、世界ポリオ撲滅推進計画 (GPEI) のパートナー組織である世界保健機関 (WHO)、ユニセフ、米国疾病対策センター (CDC) に加え、ゲイツ財団とも協力してポリオ撲滅活動を率先してきました。

「End Polio Now: 歴史に1ページを刻もう」とする今回のパートナーシップでは、2013年から5年間、ポリオ予防接種を直接支援するためロータリーが集めた資金に対し、ゲイツ財団が2倍の額を上乗せします (対象となるのは毎年3,500万ドルまで)。最大限の上乗せが提供された場合、最終的に5億2,500万ドルが集められることになります。

GPEIが最終局面を迎える中、今回のパートナーシップ拡大は非常に重要なものです。2013-18年ポリオ撲滅・エンドゲーム戦略計画の推定費用は55億米ドルである一方、4月の世界ワクチンサミットで確保されたのは40億ドルのみです。

ポリオ感染が続く国々で、現在と同レベルの予防接種活動を続けるには、この15億ドルの不足を埋める必要があります。ポリオウィルスが再び広がれば、今後10年以内に、世界で20万人以上の子どもたちが身体麻痺を患うと推定されています。

GPEIが目覚ましい進展を遂げてきた背景には、ロータリー会員の揺るぎない決意がありました。しかし、ロータリーやパートナー組織の力だけで目標を遂げることはできません。ポリオ撲滅を実現するには、各国政府、非政府組織、企業、民間など、あらゆる人びとの協力が不可欠です。支援方法はendpolionow.orgからご覧ください。

次世代の子どもたちを守る

コートジボワールでポリオ発症が最後に報告されたのは2011年でした。しかし、予防接種を受けなければ、現在もほかの地域から流入したウィルスに感染する危険性があります。4月に同国で行われた全国予防接種日には、保健従事者とともにロータリアンが活動に協力し、接種への呼びかけや、ワクチンの安全な輸送と投与を支援しました。この日、300万人以上の子どもたちにポリオ予防接種が行われたほか、ビタミンA錠剤や駆虫薬も配られ、ポリオ撲滅・エンドゲーム戦略の目的の一つである、ポリオ以外の公共保健サービスも行われました。

(写真右) コートジボワールにて、ポリオ予防接種を受けた子どもの家の戸に印を付けるロータリアン。

皆さまからの
ご寄付

ビル&メリンダ・
ゲイツ財団

25ドル + 50ドル

合計寄付額

75ドル



または



または



150

ボランティア用の
ベスト

色鮮やかな黄色のベストを目印に、予防接種要員やボランティアを簡単に見分けることができます。

75

ワクチン
輸送用クーラー

経口ポリオワクチンの効力を保つためには、常に冷却保存が必要です。

600

紫色のマーカー

予防接種を受けた子どもの小指を紫色で塗ることで、予防接種を受けていない子どもと識別できます。

ポリオ撲滅への皆さまからのご支援が3倍に。

詳しくは以下のウェブサイトから

rotary.org/ja/give





「水問題から始めようと考えたのは、水があらゆる問題に直結しているからです。水がなければ、平和は望めません。基本的なニーズが満たされていない状況では、必ず争いが起きます」

— ホルヘ・アウフランク

ロータリー財団の新しい補助金モデル「未来の夢計画」の試験段階（2010年～2013年）に、100のロータリー地区が協力しました。試験中、承認された計705件のグローバル補助金のうち、81件は第4250地区によるものでした。同地区のロータリー会員、グアテマラスール・ロータリークラブのホルヘ・アウフランクさんは、そのうち5件の補助金プロジェクトに取り組みました。

新しい補助金モデルの導入

「プロジェクトで大きな成果を生むには、パートナー選びが大切」と話すホルヘ・アウフランクさんは、プロジェクトの実施において協力関係を重視しています。

アウフランクさんが所属するロータリークラブは、米国の第6440地区にある20以上のクラブと協力し、グローバル補助金プロジェクトを実施しました。双方の会員が実施地を視察し、現地住民の声に耳を傾け、地域のリーダーと協力しながら活動計画を練り、プロジェクトを実現させました。

「現地の人びとに最初から参加してもらえば、“自分たちのプロジェクト”という意識が生まれる。このことは、持続可能なプロジェクトを実施する上でとても重要な点」と話すアウフランクさん。プロジェクトは、スポンサーとなるロータリアンだけのものではなく、地域社会のものであるという認識が必要だと、彼は言います。

グアテマラのサンパンゴで実施されたこのプロジェクトは、水と衛生に焦点を置き、9つの学校に水道とトイレを設置しました。地元の人びとも作業を手伝ったほか、石鹸づくりなどの新しいスキルを学びました。

試験段階で2番目に大きな規模（総計550万ドル）のグローバル補助金活動を実施した第4250地区のバスター・ガバナーでもあるアウフランクさんは、ロータリーの新しい補助金モデルの大きな可能性を信じています。

試験段階（2010～13年）の成果を土台として

73カ国から100地区が参加

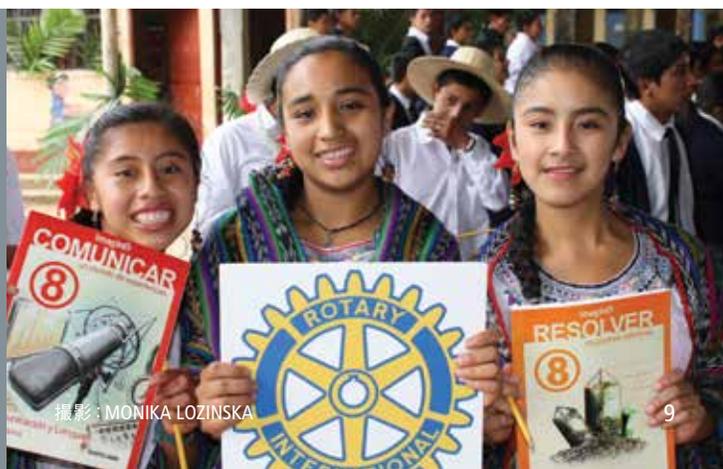
地区補助金：286件 地区補助金：705件
1,700万米ドル **4,040万米ドル**
 パッケージ・グラント：20件
170万米ドル



注）グラフの数字はグローバル補助金のみ金額です。

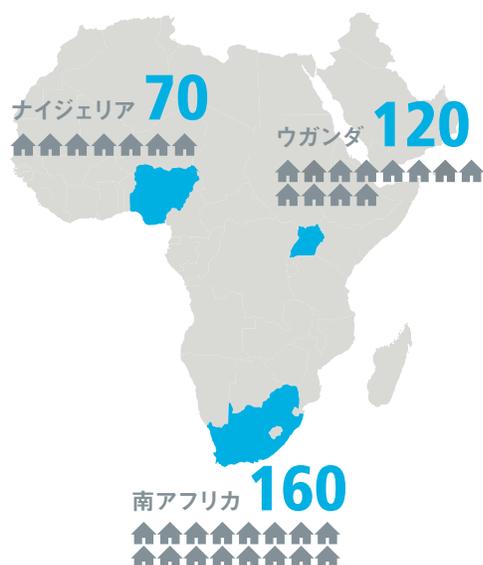
国全体の教育を強化する

ロータリーのグローバル補助金で提供された教科書を誇らしげに見せるグアテマラの生徒たち。北米とグアテマラのロータリークラブ、非営利団体「Cooperative for Education」が協同した識字プロジェクトで、この教科書が届けられました。プロジェクトでは、グアテマラで最も貧しい中学校の10パーセントを支援し、教科書、図書、コンピューターなどを寄贈しています。ロータリー補助金に関する詳細は、rotary.orgをご覧ください。



1994年にエイズで息子を亡くしたマリオン・バンチさんは、「エイズと闘うロータリアン行動グループ」(現在の「家族の保健とエイズ予防のためのロータリアン行動グループ」)を結成しました。このグループは次第に活動範囲を広げ、今ではエイズ以外の疾病の予防や治療も支援しています。

「ファミリーヘルスデー」実施地の数



疾病と闘う

5月、「家族の保健とエイズ予防のためのロータリアン行動グループ」は、ナイジェリア、南アフリカ、ウガンダの350カ所で保健イベントを開催し、275,000人以上の住民に無料の保健サービスを提供しました。5,500人のロータリアン、36のロータリークラブが開催を支援する中、コカ・コーラ社、米国疾病対策センター (CDC)、米国国際開発庁 (USAID)、デルタ航空、各国の保健省からも協力を得ました。

精力的に活動するこの行動グループの立役者は、米国のロータリアン、マリオン・バンチさんです。ジョージア州のダンウッド・ロータリークラブに所属するバンチさんは、10年前にエイズで亡くした息子さんのために何かをしたいと考え、2004年にグループを結成しました。

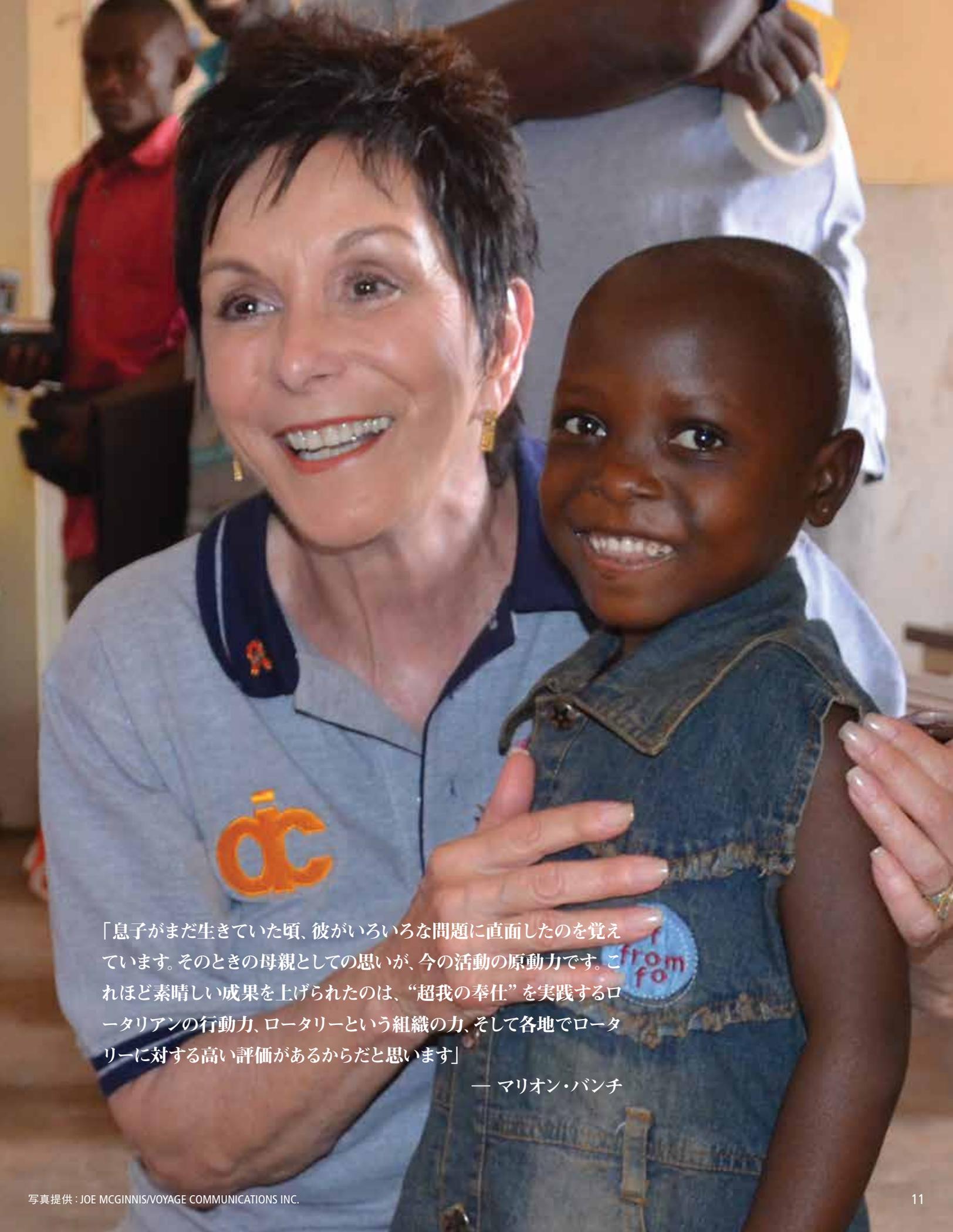
営業戦略を専門とするバンチさんは、自身のスキルを生かしてこの行動グループのアイデアを広め、結成から間もなく、コカ・コーラ社や米国政府など強力なパートナーを確保しました。「できるだけ多くの子どもや家族の保健ニーズを満たすには、多団体とのパートナーシップが最も効果的」と、バンチさんは語ります。

感染リスクの高い若者たちを対象にエイズへの認識を高める活動を続け、活動範囲をアフリカへと広げ、「ロータリー家族保健デー」には、HIV検査やカウンセリングだけでなく、ポリオとはしか (麻疹) の予防接種、マラリアと結核の検査、糖尿病、高血圧、子宮頸がん検診など、幅広い保健サービスを行っています。

持続可能な成果をもたらすロータリアン行動グループ

各分野に詳しい人びとが集まるロータリアン行動グループは、人道的ニーズを満たすための長期的な解決法を見つけるべく、支援を提供しています。全世界に19の行動グループがあり、26,000人以上のロータリアン、ローターアクター、支援者が活動しています。

(写真左) ミャンマーでは、水と衛生のロータリアン行動グループとロータリー補助金のサポートにより、25以上の孤児院できれいな水と衛生施設が利用できるようになりました。このプロジェクトと行動グループの詳細は、rotary.orgでご覧ください。



「息子がまだ生きていた頃、彼がいろいろな問題に直面したのを覚えています。そのときの母親としての思いが、今の活動の原動力です。これほど素晴らしい成果を上げられたのは、“超我の奉仕”を実践するロータリアンの行動力、ロータリーという組織の力、そして各地でロータリーに対する高い評価があるからだと思います」

— マリオン・バンチ



「精霊の仕業でブルーリ潰瘍にかかる
と信じていた人びとも、今では病院で
診断を受けるようになりました」

— サミュエル・オブール

きれいな水と改善された衛生施設をいつまでも使えるよう、
ロータリアンは世界各地で活動しています。
ガーナできれいな水の提供に取り組む**サミュエル・オブール**さんは、
数々の水プロジェクトを実施し、各地で井戸の設置に貢献してきました。

きれいな水を提供する

「ガーナの人びとが健康でよりよい生活を送れるように……」 サミュエル・オブールさんは、きれいな水の提供と疾病の予防に尽くしています。自身がガバナー補佐を務める第9102地区で、サンヤニセントラル・ロータリークラブに所属するオブールさんは、クラブの仲間やカナダのロータリアンとともに、グローバル補助金プロジェクトを実施しました。地元の小学校にトイレを設置したり、人出の多い市場にトイレと水道を設置するなどして衛生環境を整えた結果、赤痢やそのほかの細菌感染症の予防に効果がありました。

さらに彼のクラブは、地元で広がるブルーリ潰瘍の問題にも取り組みました。この潰瘍は細菌感染によって皮膚が侵食される病気で、病変した腕や足は多くの場合、切断が必要です。細菌の感染源は明らかでないものの、傷が早期発見されれば抗生物質を投与して、悪化する前に治療が可能です。そこでオブールさんのクラブは、ガーナの保健所と協力して村人に病気についての正しい知識を広め、早期発見が鍵であることを強調したほか、病院に必要な医療機器を提供しました。

水と衛生プロジェクトの支援方法やロータリー補助金の詳細は、rotary.orgをご覧ください。

病気をなくす

ガーナの3つのロータリークラブ（サンヤニセントラル、タマレ、ボルガタンガ・グッドウィル）と、米国、カナダ、スイスの80以上のクラブが協力するプロジェクトでは、ガーナの村で井戸を修復し、浄水システムを設置しました。この結果、きれいな水が利用できるようになっただけでなく、同国でのギニア虫感染症の根絶に大きく寄与しました。

パートナーと手を組んで

ロータリーは、他団体と協力してリソースを最大限に有効に活用し、全世界の水や衛生を取り巻く状況を改善することをめざしています。

「国際ロータリー（RI）と米国国際開発庁（USAID）によるH2O協力」のパートナーシップでは、ガーナ、フィリピン、ドミニカ共和国において、持続可能な水・衛生プロジェクトを実施しています。

「国連ミレニアム開発目標は、1組織が単独で達成できるものではありません。世界中に34,000のクラブと120万人の会員がいるロータリーでも、単独では難しいでしょう」と話すのは、USAID担当委員会のロン・デナムさんです。「成功するには、各所からリソースを集めることが重要です。目標を同じくする団体や組織が協力すれば、相乗効果が期待できます」

ユネスコ水教育研究所との戦略パートナーシップでは、毎年ロータリーにより派遣された16人の学生が、オランダ、デルフトにある同研究所の修士課程に留学します。ユネスコ水教育研究所は、国際的な水管理に特化した世界唯一の大学院です。

（写真下）ドミニカ共和国のある村で、浄水を料理に使う女性。RIとUSAIDによる「H2O協力」の下で実施された数多くのプロジェクトの中には、このように浄水フィルターを設置するものもあります。



「国際的な紛争の調停では、双方の間に立ってさまざまな役割を担います。この仕事は、仲裁だけでなく、それぞれの権利を擁護したり、平和への意欲を鼓舞することも必要です。積極的に働きかけて、適切な代表者に和平交渉に参加してもらうことが大切です」

— ブリジッタ・フォン・メスリング

ベルリン、ホノルル、広島で開催されたロータリー世界平和フォーラム。

6,300人以上の参加者が集い、平和への決意を新たにしました。

元ロータリー平和フェローで平和活動研修者である

ブリジッタ・フォン・メスリングさんは、ベルリンのフォーラムでパネリストを務めました。

平和の推進

ソーシャルメディア上のヘイトスピーチ（憎悪表現）から、紛争地域での犯罪への対応まで、元ロータリー平和フェローのブリジッタ・フォン・メスリングさんは、平和の構築につながる幅広い仕事に従事しています。

ドイツ政府による資金援助の下で運営されているベルリンの国際平和協力センターで、シニアアドバイザーを務めるメスリングさん。1～3年間のミッションで、国連などの国際機関と協力しながら、紛争地域で平和維持・構築活動に従事する人びとを研修しています。

調停と異民族間対話を専門とするメスリングさんは、メンタリングのスキルから犯罪・事件現場の管理まで、幅広いトピックの研修を行ってきた一方で、ソーシャルメディアの利用に関しても力を入れています。

メスリングさんは、2004～06年度にブラッドフォード大学に留学し、その間、グアテマラで民主化プロセスに関する実地研修にも参加しました。フェローシップの素晴らしいところは、さまざまに違うレベルで平和構築に尽くす人たちと出会い、つながりを広められたことだと振り返ります。

フェローシップ終了後も、ロータリーの行事で講演するなど、ロータリーとのつながりを維持しているメスリングさん。2012年にベルリンで行われたロータリー世界平和フォーラムや、ソルトレークシティで行われた2007年ロータリー国際大会での講演に加え、ドイツ国内のクラブや地区でも定期的に講演を行っています。「ロータリーによる平和構築活動に、平和フェローがもつ専門知識を生かすことが重要」と考える彼女は、平和フェローと協力することをクラブに奨励しています。

平和の実現につながるご支援

ロータリー平和センター・プログラムでは、国際的に活躍できる平和構築者を育成することを目的に、平和と紛争解決分野の修士号または専門能力開発修了証を取得するための奨学金を提供しています。冠名寄付など、平和センターの支援方法に関する詳細は、ロータリーのウェブサイト (www.rotary.org) をご覧ください。

「平和はあなたから始まる」

3回のロータリー世界平和フォーラムでは、それぞれに平和宣言が採択されました。また、2013年ロータリー国際大会（ポルトガル、リスボン）では、3つの平和宣言が集約された1つの平和宣言が採択され、「平和はあなたから始まる」を合言葉に、すべての人が自らの言動を通じて日常生活において平和構築者となり、平和は実現可能であることを実証しようと呼びかけました。

田中作次RI会長は次のように述べました。「すべてのロータリーのプロジェクト、すべての奉仕活動は愛情と思いやりの表れです。平和は、協定や、政府や、大胆な闘争だけで達成するものではなく、日常の簡単な方法の積み重ねによって成し遂げるものであります」

長年におよぶ平和の追求

（写真下）1月、ハワイのホノルルで開催されたロータリー世界平和フォーラムにて、田中作次RI会長からハワイ平和賞を受け取る、ノーベル平和賞受賞者、アウンサンスーチーさん。この賞は、長年にわたり、非暴力的で平和的な方法でミャンマーにおける民主化を追求してきたスーチーさんの功績を称えて贈られました。スーチーさんは20年におよぶ自宅軟禁から2010年に解放され、2012年にはミャンマーの国会議員に選出されました。





「アフリカの地域社会のニーズ、特に保健問題におけるニーズを知り、何とかして助けたいと思いました。その機会をロータリーが与えてくれたことに、心から感謝しています」

— アルン・チョードリーさん

写真提供：ARUN CHAUDHARI

ロータリーの活動パートナー

ロータリーは、世界各地での人道的活動において多くの団体と協力しています。ロータリーの活動パートナーに関する詳細は、ウェブサイト (www.rotary.org) からご覧ください。

ポリオ撲滅活動のパートナー

国際ロータリーは、以下の組織と協力し、世界ポリオ撲滅推進計画における中心的存在となって活動しています。

- 世界保健機関 (WHO)
- ユニセフ
- 米国疾病対策センター (CDC)
- ビル&メリンダ・ゲイツ財団
- 寄付国の政府

国連

国際ロータリーは、国連組織やそのほかの組織に代表者を派遣し、国連との協力をはかっています。

戦略パートナー

ロータリーは、パッケージ・グラントを通じてロータリアンに奉仕の機会を提供するため、以下の組織と戦略パートナーシップの提携を結んでいます。

- アガ・カーン大学
- マーシーシップス
- ユネスコ水教育研究所

プロジェクトパートナー

ロータリーのプロジェクトパートナーであるシェルターボックスは、世界中のロータリアンに奉仕の機会を提供することを目的に、クラブや地区と提携しています。

外部団体との協力とによって、活動の影響力を何倍にも大きくすることができます。その良い例が、ロータリーの戦略パートナーの一つ、マーシーシップスとの協力です。

インドの**アルン・チョードリー**さんは、この協力を通じて、アフリカのギニアで眼科手術の研修を行う職業研修チームに参加。これにより、現地でより質の高い、持続可能な患者へのケアが実現しました。

より良い世界を目指す パートナーシップ

眼科医として最も報いがあると感じるのは、地元で恵まれない人たちに無料で眼科手術を行うこと、そして、同じ分野で活躍するほかの医師に新しい技術を教えること、と話すのは、アルン・チョードリー医師。地元地域だけでなく、母国インド、そして人類全体に恩返しをしたいという思いから、この活動を行っています。

ムンバイウェストコースト・ロータリークラブ会員であるチョードリーさんは、2013年の初め、西アフリカのギニアを訪れた職業研修チーム(VTT)に参加しました。このVTTは、マーシーシップスとのパートナーシップによるロータリーのパッケージ・グラントによるものです。12日間に、4名の医師が500名以上の患者を診察し、65人に手術を行いました。3分の2の手術で、チームが地元の医師に手術方法を指導したほか、地元医師による手術を監督しました。

地元の医師に技術を研修することで、眼疾患の予防と患者の早期回復にもつながると、チョードリーさんは話します。

「ロータリーとマーシーシップスとのパートナーシップの目的の一つは、西アフリカで必要とされる医療を向上させるため、地元の医療従事者のスキルを高めることです」

— ウィルフリッド J. ウィルキンソン
ロータリー財団管理委員長



「ロータリーによる人類への奉仕は、ほかに類を見ないほど幅広いものであり、私たちのパートナーシップは、アフリカでの医療向上を図る上で大きな力になると確信しています」

— ドナルド K. スティーブンス
マーシーシップス会長・創設者

奉仕のパートナー

以下の組織は、各地元のロータリープロジェクトにおいてクラブの活動を支援しています。

- ドリー・パートンのイマジネーション・ライブラリ
(Dolly Parton's Imagination Library)
- グローバル・フードバンキング・ネットワーク
(Global FoodBanking Network)
- グッドウィル・インダストリーズ・インターナショナル
(Goodwill Industries International)
- 国際読書協会
- YSA (ユース・サービス・アメリカ)

政府組織パートナー

RIとUSAID (米国国際開発庁) による「国際H2O協力」は、国際ロータリーとUSAIDとのパートナーシップであり、水と衛生分野のプロジェクトを支援しています。

ロータリー平和センター

ロータリー財団は、以下の大学との提携を通じて、ロータリー平和センターにおける平和と紛争予防・紛争解決分野の修士号または修了証取得のためのフェローシップ (奨学金) を提供しています。

- チュラロンコーン大学
(タイ、バンコク、専門能力開発修了証プログラム)
- デューク大学/ノースカロライナ大学チャペルヒル校 (米国)
- 国際基督教大学 (日本、東京都)
- ブラッドフォード大学 (英国、ウェストヨークシャー)
- クイーンズランド大学 (オーストラリア、ブリスベン)
- ウブサラ大学 (スウェーデン、ウブサラ)



「私は、新しいロータリームーブメントの中で
中心的な役割を果たし、ロータリーが時代に
即した団体であり続け、若い世代の参加を促
すためのお手伝いをしたいと思っています」

— ホリー・ランソムさん

若い会員はロータリークラブに活力を与え、新しいスキルをもたらしてくれます。
 例えば、弱冠22歳でクラブ会長となったホリー・ランソムさんは、
 会員の多様化とボランティアの機会の創出に力を入れています。

若い力がクラブを変える

ロータリアン、ホリー・ランソムさんのツイッターには1万人以上のフォロワーがあり、フェイスブックのページにはヒラリー・クリントン氏との写真が掲載されています。オーストラリア国内だけでなく、海外でも、世代間の協力や社会革新を主題に講演しているランソムさんは、「Australian Financial Review」誌の「影響力のある女性100人」の一人にも選ばれました。

素晴らしい経歴を持つランソムさんですが、驚くべきことは、彼女がまだ23歳だということです。昨年、西オーストラリア大学から法律と経済学の学士号を取得して卒業したばかりのランソムさんは、在学中から、鉱業と金属を扱う多国籍企業、「リオ・ティント」のビジネスアナリストとして働いてきました。

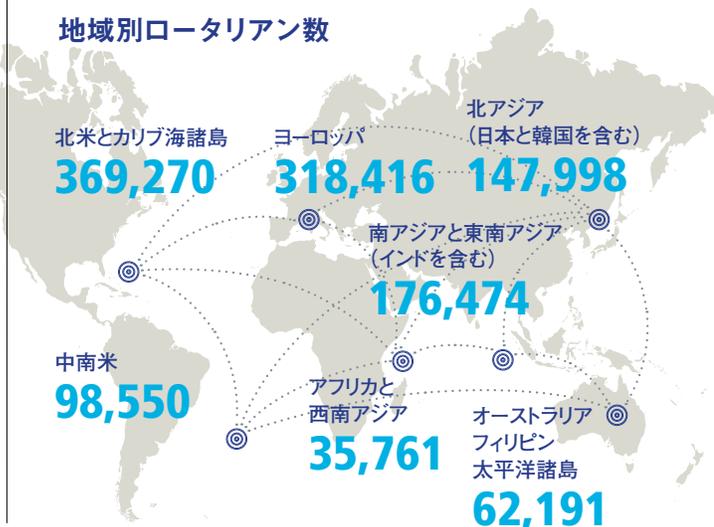
ランソムさんは、2011年に西オーストラリアのクローリー・ロータリークラブに入会し、2012年にロータリー史上最年少のクラブ会長に就任しました。2010年に創立会員20名で設立されたこのクラブは、現在では100名以上の会員がいます。例会でのしきたりを和らげたり、幅広い世代の人を勧誘したり、多くのボランティアの機会を設けるなど、伝統的なロータリーとは「一味ちがった」ロータリーを実践しています。

リーダー育成、メンター活動、世代間の協力といった要素は、若いリーダーを惹き付ける大きなポイントであると、ランソムさんは話します。重要なのは、若い会員にとって居心地の良いクラブ環境をつくること。それには、伝統的なしきたりや慣行を変えたり、より活発な参加を促すことが必要です。

2012-13年度会員統計



地域別ロータリアン数



奉仕のために集う

ダールズスーパーリアエコ・ロータリークラブ（米国ミネソタ州）は、地元の川、道路わき、森林地帯の定期的な清掃など、さまざまな活動を行っています。奉仕活動への積極的な参加を通じて会員の満足感が生まれ、クラブへの愛着心が強まるそうです。

会員増強や地域社会での奉仕など、各地のロータリークラブが実践している画期的な活動については、ロータリーのウェブサイト（www.rotary.org）からご覧ください。



写真提供：ROTARY CLUB OF DULUTH SUPERIOR ECO

ロータリーのプログラムを通じて、地元地域のために活動する若者の数は、
実に5,000万人以上。インドのパンカジ・ジェスワニさんは、
自身が所属するローターアクトクラブを通じて、低所得地域の学校に通う
多くの子どもたちに無料の眼科検診を行う活動に参加しました。



ローターアクト

5,820 クラブ
133,860 ローターアクター
(18~30歳)



インターアクト

15,875 クラブ
365,125 インターアクター
(12~18歳)



ロータリー青少年交換

67 国から 8,000 以上の学生
(14~19歳)



ロータリー青少年 指導者養成プログラム (RYLA)

25,000 以上の学生と若者

若者の力を引き出す

パンカジ・ジェスワニさんがカドゥケウス・ローターアクトクラブ（インド、ムンバイ）に入会したのは、医学部時代の仲間からの紹介がきっかけでした。このクラブの会員のほとんどが、ジェスワニさんと同じく医師です。入会したいと思った理由は、クラブが地域社会への恩返しに力を入れていたこと、また、医師としての知識を生かして人びとを支援できると考えたからです。

今ではクラブ会長を務めるジェスワニさんは、貧しい人たちのために、低価格で質の高い医療を提供することに力を注いでいます。クラブはまた、学校での健康診断なども実施しており、その活動を通じて、100人の子どものうち15人が、何らかの眼疾患を患っていることが分かりました。

ムンバイだけでも、75,000人の子どもたちが視力の問題を抱えており、家族はこれを、治療できない疾患だと思っています。また、これらの子どもたちは、教室で黒板がよく見えないために学校嫌いになってしまうと、ジェスワニさんは話します。

低価格の眼科治療へのニーズが高いことが明らかになったことから、彼を中心として「Vision Six by Six」という団体が設立され、その活動が2013年「卓越したローターアクトプロジェクト賞」を受賞しました。クラブは、このプロジェクトのために集めた15,500米ドルで医療品を購入したほか、3つの非営利病院と協力して1万人の子どものための眼科検診と眼科手術を行いました。

学生や若い人たちが参加できるロータリーのプログラムについては、ロータリーのウェブサイト (www.rotary.org) をご覧ください。

奉仕と友情の輪を広げる

ホーリースピリットナショナル高校インターアクトクラブ（フィリピン、ケソン市）のメンバーは、地元の医療プロジェクトで利用された医療・歯科治療器具を洗浄する活動を行っています。また、この活動では、当地のロータリアンとローターアクターが医師、歯科医、看護師などに働きかけた結果、眼疾患を抱える低所得者400人が恩恵を受けました。



A woman in an orange floral sari stands behind a table, smiling. A man in a white lab coat sits at the table, looking down at papers. On the table are boxes of 'RICALFORTE TABLETS' and 'Ferplus'. The background shows an outdoor setting with a building and a water dispenser.

「質の高い教育を受けることはすべての
子どもの権利です。Vision Six by Sixは、
すべての子どもたちが教室でしっ
かりと勉強できるよう、平等
な機会を与えています」
— パンカジ・ジェスワニさん

「現地の子どもと親たちは、私が帰国しないように
引き止めようと抱きしめてくれるんです。そんな彼ら
の気持ちに応えたくて何度も現地を訪れています。
彼らの生活を少しでも改善できると信じて……」

— セシル“パンチョ”パディヤさん



2012-13年度、ロータリー財団に25万ドル以上の寄付をした55名のロータリアンとロータリーの支援者が、「アーチ C. クランフ・ソサエティ」に入会しました。その一人、セシル“パンチョ”パディヤさんは、この度の多大な支援に加え、ロータリーの補助金プロジェクトにも精力的に参加しています。

ロータリーの活動を支えるために

奉仕活動に情熱を傾けるセシル“パンチョ”パディヤさんは、これまで70カ国以上を訪れています。ウィンターズ・ロータリークラブ（米国カリフォルニア州）会員であるパディヤさんは、医療プロジェクト、橋や道路の建設、孤児院や家の修繕、アフリカでのポリオ予防接種、ハリケーン「カトリーナ」で被災した米国ルイジアナ州の町の復興など、さまざまな活動に参加してきました。

「パシフィック・ガス・アンド・エレクトリック社」のコンサルタントを務めるパディヤさんは、貿易の知識があり、スペイン語も流暢に話します。そんなパディヤさんの人生を変えたのは、ロータリーで初めて参加した国際奉仕プロジェクトで、メキシコのバハカリフォルニアを訪れたときだったそうです。ロータリーが本当に人びとの人生を変えられることを実感し、真のロータリアンになったと振り返ります。

世界各地を訪れているパディヤさんですが、地元地域での活動にも力を入れています。ロータリーだけでなく、米国赤十字の緊急対応者、ハビタット・フォー・ヒューマニティや地元の危機管理センターのボランティアとしても活躍しています。ロータリーでは、23人の新会員入会にも寄与しました。

ロータリー財団への支援にも熱心なパディヤさんは、2012年10月、アーチ C. クランフ・ソサエティに入会しました。

2012-13年度アーチ C. クランフ・ソサエティ入会者

財団サークル (100万ドル以上)

Yale and Barbara Jones

管理委員長サークル (250,000ドル～499,999ドル)

(敬称略)

坏 昭二

Badrinarayan Barwale

Henry Shun-Li Chang and Cathy Hsiang-Yueh Lin Chang

Tony Hung-Ming Chang and Julia Tai-Hua Chen Chang

Wayne and Bernice Chesley

Sweetme Shui-May Chou and Chu-Chen Lin

Laverna Dollimore†

藤林豊明・直美

Ed Futa

Rafael M. Garcia III and Minda A. Garcia

Jon B. and Linda Grant

堀田修平・珠貴

James F. and Susan M. Hunt

Jennifer E. Jones and Nicholas C. Krayacich

Harley and Mary† Jordan

北 清治・信子

Floyd A. and Betty Lou Lancia

Judy Huang and Nellie Lin

John and Jane MacKay

Penny and Chris Offer

小沢一彦

Cecil “Pancho” Padilla

Jim and Donna Philips

Cyrus S. Poonawalla

John E. Stewart

Bryn and Randy Styles

Oswaldo and Hisame Takata

竹腰兼壽・京子†

Glen A. and Sharon A. Thomet

Eng-Rung “E.R.” Tsai and Sharon Mei-Shui Tsai Tseng

†故人

大きな変化をもたらす皆さまからのご支援

皆さまからのご支援は、世界中のロータリアンによる幅広い活動を可能にします。皆さまに感謝申し上げるとともに、引き続きご支援をお願い申し上げます。

(写真右) ご支援によって可能となったロータリー補助金活動：インドと韓国のロータリアンにより実施された「Heart to Heart」プロジェクトでは、インドとパキスタンで、先天性心疾患のある子どもたちに、命を救う手術が行われました。持続可能な成果をもたらすこのような活動は、ロータリー財団へのご支援があってこそ可能となります。



写真提供：ASHOK KUMAR AGARWAL

財務報告

ロータリーの連結財務報告には、国際ロータリー、ロータリー財団、その支部の活動が含まれます。

リーダーのネットワークに参加し、アイデアを広げ、行動することによって、他者に奉仕し、高潔性を推進し、世界理解、親善、平和を推進することを使命とする国際ロータリーは、主に、会員の会費によって運営されています。

ロータリーの慈善機関であるロータリー財団は、財団の使命を支える会員とロータリー支援者からの任意のご寄付のみを財源としています。

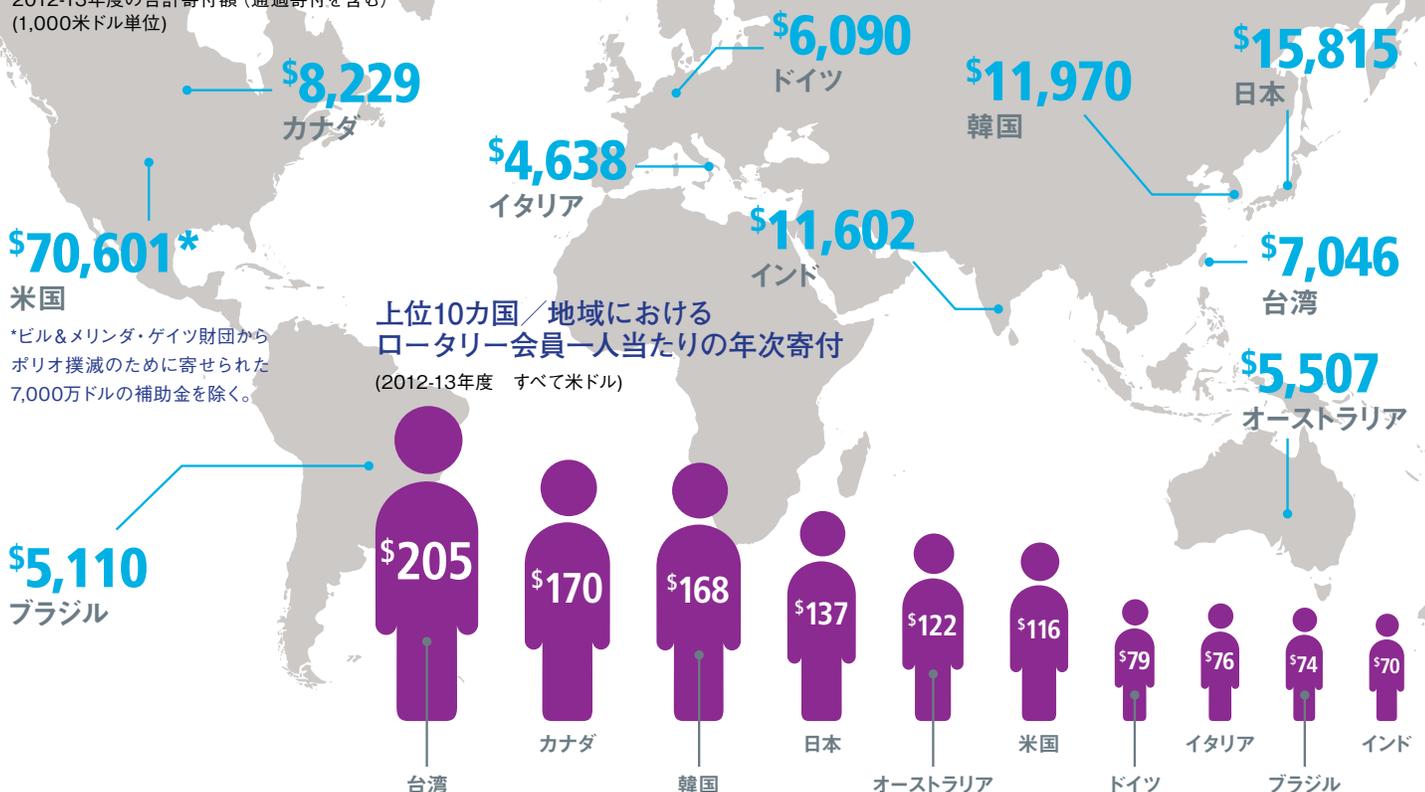
連結財務状況

(2013年6月30日現在 1,000米ドル単位)

資産	2012-13年度	2011-12年度
資産		
現金および現金等価物	\$ 50,512	\$ 54,891
受取勘定(正味)	44,301	8,811
投資	919,581	846,541
固定資産(正味)	39,741	36,094
その他	37,942	35,609
資産合計	\$ 1,092,077	\$ 981,946
負債および純資産		
負債		
未払いのプログラム補助金	\$ 65,831	\$ 57,187
未払勘定、見越し経費、その他	52,740	45,364
繰越歳入	1,843	3,664
年金債務	10,672	16,970
負債合計	\$ 131,086	\$ 123,185
純資産		
非拘束純資産	\$ 654,563	\$ 610,229
一時拘束純資産	71,715	34,404
永久拘束純資産	234,713	214,128
純資産合計	\$ 960,991	\$ 858,761
負債および純資産合計	\$ 1,092,077	\$ 981,946

2012-13年度の合計寄付額(通過寄付を含む)*

2012-13年度の合計寄付額(通過寄付を含む)*
(1,000米ドル単位)



米国

*ビル&メリンダ・ゲイツ財団からポリオ撲滅のために寄せられた7,000万ドルの補助金を除く。

連結決算報告

(2013年6月30日までの年度 1,000米ドル単位)

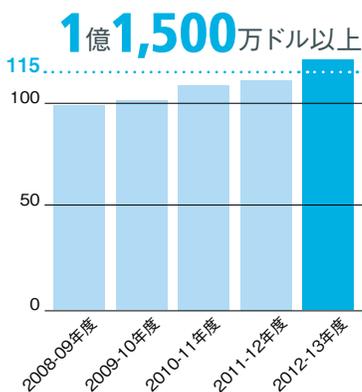
収入	2012-13年度	2011-12年度
寄付	\$ 234,196	\$ 180,683
会費	62,503	61,387
純投資収益	67,713	(21,353)
その他	27,658	27,887
収入合計	\$ 392,070	\$ 248,604

支出	2012-13年度	2011-12年度
ロータリー財団プログラム支出		
教育的プログラム	\$ 21,956	\$ 22,169
人道的プログラム	50,901	55,187
ポリオプラス・プログラム	76,059	105,001
ロータリー補助金	26,439	19,490
その他のプログラム	1,154	2,192
ロータリー財団プログラム支出合計	\$ 176,509	\$ 204,039
ロータリー財団増進経費	\$ 17,684	\$ 18,254
ロータリー財団一般管理運営	4,651	5,143
RI運営経費	71,634	70,066
RI業務提供とその他の活動	25,660	25,827
支出合計	\$ 296,138	\$ 323,329

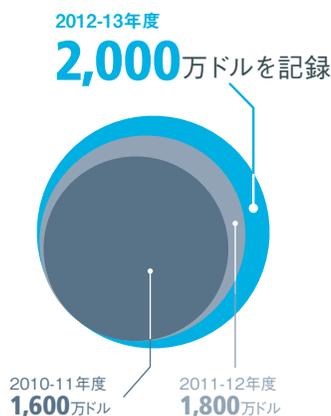
年金関係の調整前における純資産の増加(減少)	\$ 95,932	\$ (74,725)
年金関係の調整額	6,298	(10,460)
純資産の増加(減少)	\$ 102,230	\$ (85,185)

史上最大の年次基金

(100万米ドル単位)



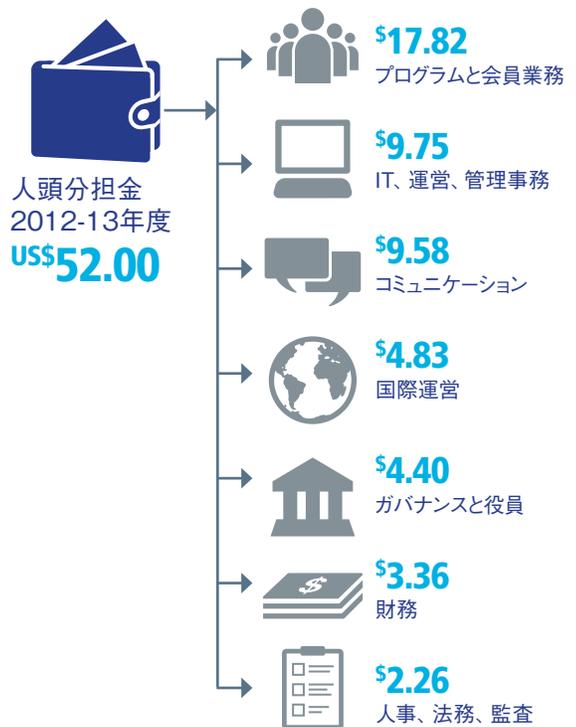
着実に成長する恒久基金



ポリオプラス基金への寄付



人頭分担金の使途



注: RIの運営経費は主に、会費で賄われ、純投資収益で補われています。会長、理事、管理委員の経費、監査済み財務諸表など、2012-13会計年度の詳しい財務情報は www.rotary.org/ja/financials をご覧ください。

ハイライト

2012-13会計年度は財務状況が非常に良好な一年となり、ロータリーが世界でよいことをするために、強固な財務基盤を築くことができました。年次基金への寄付は史上最高を記録し、1億1,510万ドルを超えました。また恒久基金への寄付は2,040万ドルを記録しました。

ポリオプラスでは、ロータリアンとロータリー支援者から2,360万ドルの寄付が寄せられ、またビル&メリンダ・ゲイツ財団からも6,960万ドルが提供されました。

ロータリーの新しい補助金モデルが全世界で開始された年でもありました。これに先立ち世界の100地区が参加した未来の夢試験段階では、地区補助金とグローバル補助金を合わせて2,640万ドルの支援によるプロジェクトが実施されました。

投資

2012-13会計年度における金融市場は概ね良好で、ロータリーの投資に大きな収益がありました。ロータリー財団の純投資収益は5,600万ドル、国際ロータリーの純投資収益は1,170万ドルでした。

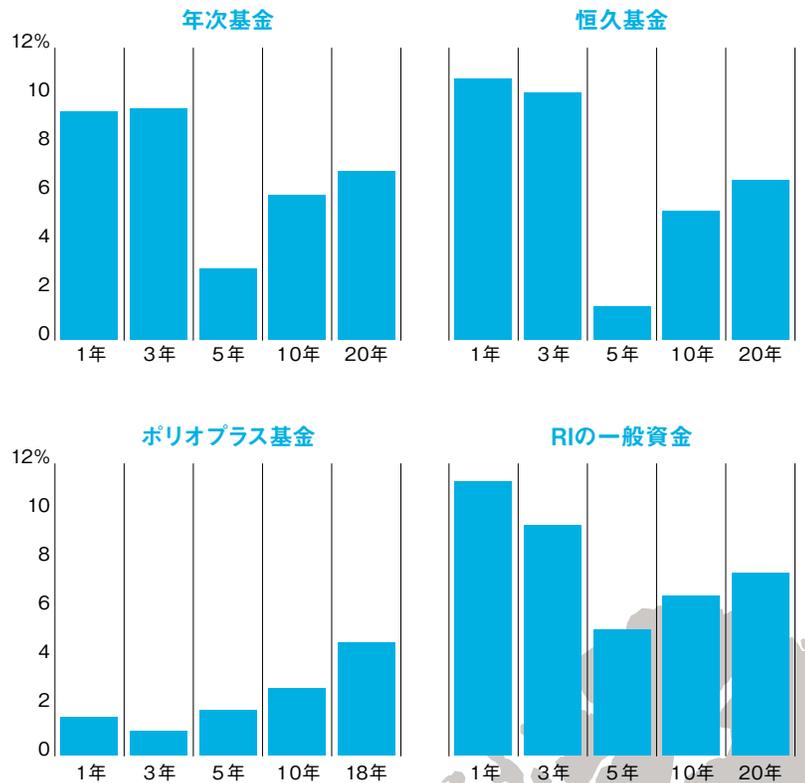
国際ロータリーとロータリー財団の両組織は、慎重な投資管理に基づき、米国と米国以外の株、確定利付証券、ヘッジファンドを含む、分散されたポートフォリオを持っています。ロータリー財団は、不動産や未公開株式といった代替資産にも投資しています。ロータリー財団投資委員会（管理委員3名、投資を専門とするロータリアン6名）とRI財務委員会が、ロータリーの投資を監督するほか、両組織の投資に関する助言を行い、投資を観察する、外部の投資コンサルタントも採用しています。ロータリーの資金はすべて、経験あるプロの投資マネージャーが管理しています。

投資の方針や業績など、ロータリーの投資に関する詳細は、www.rotary.orgでキーワード「投資」を検索してご覧いただけます。

地域別のプログラム経費

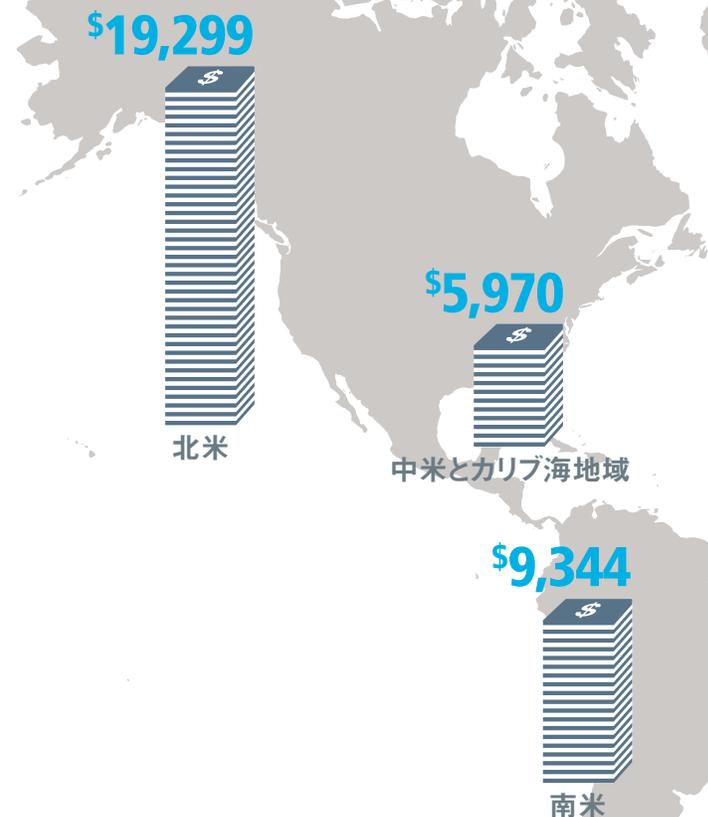
ロータリーは世界のあらゆる地域で実施される幅広い活動に、資金や補助金を提供しています（25ページ上部の「連結決算報告」を参照）。インフォグラフィック（右）は、これらの活動への支出合計額を地域別に示しています。この合計には、新旧両方の補助金モデルによる補助金が含まれています。

投資収益率

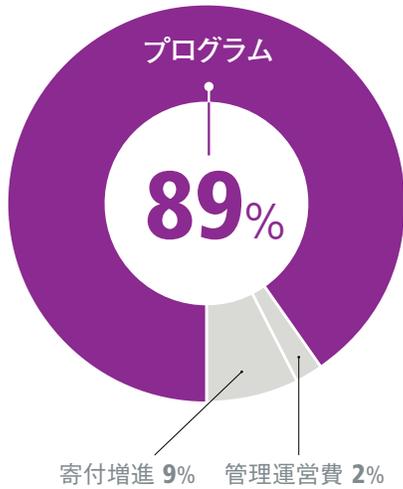


プログラム支出の合計 (地域別)

(1,000米ドル単位)



ロータリー財団の支出内訳



A+

American Institute of Philanthropyより



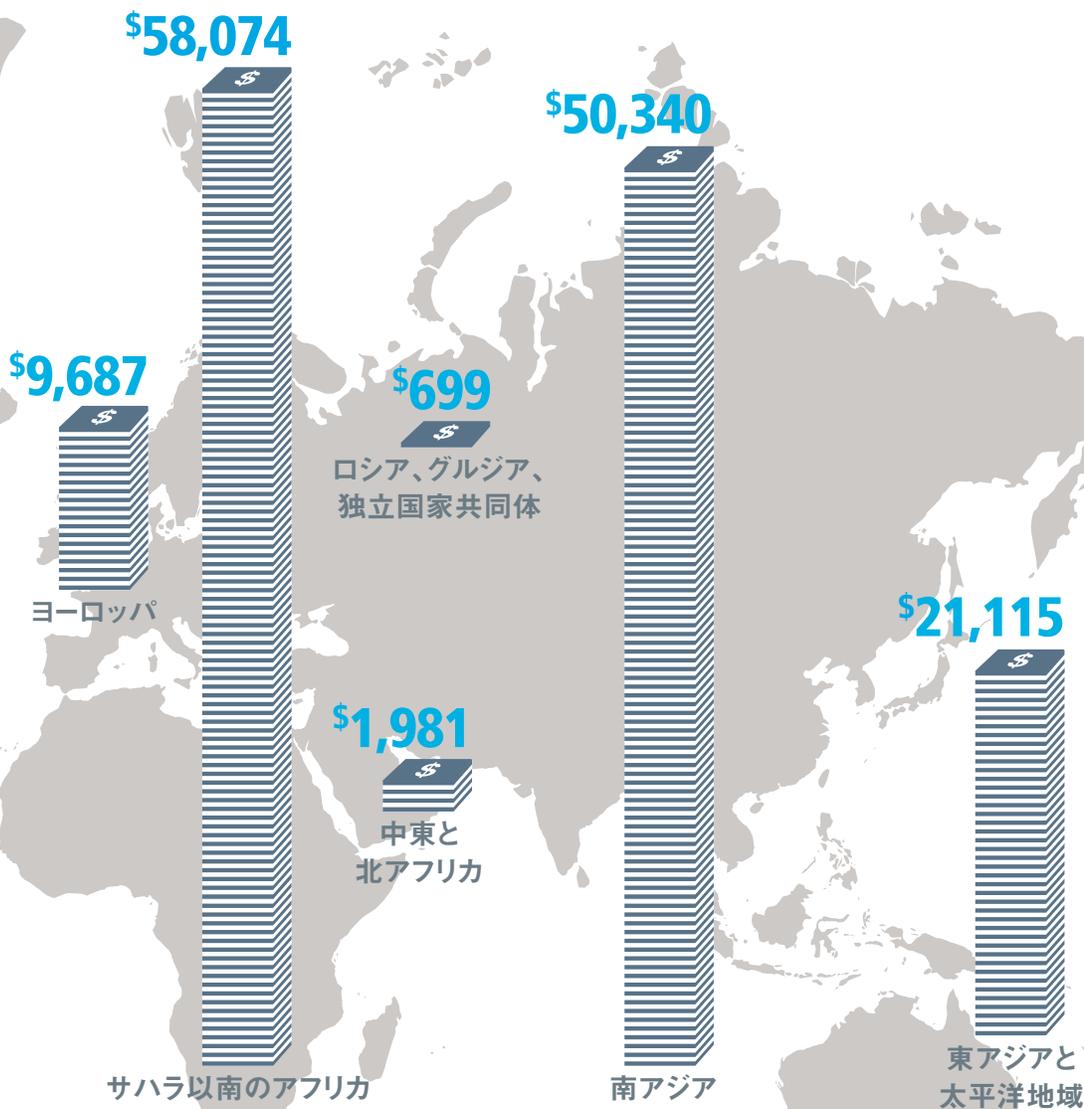
Charity Navigatorより

完全認定

BBB Wise Giving Allianceより

ロータリーの運営評価

2013年、ロータリー財団は前年度の活動評価に基づき、米国の慈善団体の評価機関である American Institute of Philanthropy から「A+」、Charity Navigator から最高評価の4つ星、BBB Wise Giving Alliance から完全認定を受けました。2012-13会計年度の財団支出のうち、管理運営費はわずか2パーセント、寄付増進費は9パーセントとなっています。当財団は、支出の89パーセントをプログラム費に投じており、これは非営利組織の中でも標準をはるかに上回る割合であるほか、上記の評価機関はその効率の高さを評価しています。





国際ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することである。

国際ロータリーのロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである。

2012-13年度国際ロータリー理事会

会長

田中作次 (日本)

会長エレクト

ロン D. バートン (米国)

副会長

ケネス M. シュパート・ジュニア (米国)

財務長

ケネスR. ボイド (米国)

エリザベス S. デマレイ† (米国)

†故人 (2013年1月25日逝去)

理事

ホセ・アントニオ F. アンティオリオ (ブラジル)

アン・ブリット・アセボル (スウェーデン)

ジョン K. ベスト (米国)

ジョン B. ボーグ (オーストラリア)

ヤシュ・パル・ダス (インド)

ジャック・ディ・コスタンゾ (フランス)

アラン O. ジャガー (英国)

ポール・ニフ (オランダ)

松宮 剛 (日本)

アン L. マッシューズ (米国)

シェカール・メータ (インド)

朴 柱寅 (韓国)

ギデオンのパイパー (イスラエル)

アンディ・スモールウッド (米国)

ブリン・スタイルズ (カナダ)

事務総長

ジョン・ヒューコ (米国)



ロータリアンは、グローバル補助金を利用して、グアテマラのマヤ族の村にある学校にきれいな水と衛生設備を提供し、1万人以上の子どもたちの生活改善を支援しました。

2012-13年度ロータリー財団管理委員会

管理委員長

ウィルフリッド J. ウィルキンソン (カナダ)

管理委員長エレクト

李 東建 (韓国)

副管理委員長

スティーブン R. ブラウン (米国)

管理委員

アントニオ・アラジェ (ブラジル)

リン A. ハモンド (米国)

謝 三連 (台湾)

ジョン・ケニー (スコットランド)

レイ・クリングスミス (米国)

アショク M. マハジャン (インド)

マイケル K. マクガバン (米国)

サミュエル F. オオリ (ウガンダ)

小沢一彦 (日本)

イアン H.S. ライズリー (オーストラリア)

フリオ・ソルフス (スペイン)

ステファニー A. アーチック (米国)

事務総長

ジョン・ヒューコ (米国)

表紙

ロータリー第5030地区が始めた「ファースト・ハーベスト」プログラム。地元の農家、運送会社、フードバンク、ボランティアと協力して、食べ物に困っている人びとへの食料支援を行っています。

撮影：ALYCE HENSON



ROTARY INTERNATIONAL
THE ROTARY FOUNDATION

One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
www.rotary.org

187-JA-(1113)